

日本学校音楽教育実践学会
第30回全国大会 セミナー

領域横断的な視点が切り拓く
音楽教育の新たな世界

その3 - 文楽にみる近世の社会と芸能 -

江戸時代、人形浄瑠璃（文楽）は大阪を起点に全国各地で上演され、大名から百姓に至るまで、あらゆる階層の人々に親しまれていました。その物語の中には、さまざまな身分の人々の暮らしが描き込まれています。音楽の教科書に取り上げられている『義経千本桜』や『新版歌祭文』などを例に挙げながら、文楽と当時の社会との関わりや、その音楽的魅力について考えてみたいと思います。 -久堀裕朗

講師

久堀裕朗氏
(大阪公立大学)

竹本織太夫氏
(太夫)

鶴澤清旭氏
(三味線)

日時

2025年
8月23日(土)
9:00~11:00

会場

大阪教育大学
天王寺キャンパス
西館1階 107(ホール)

参加費

2000円

講師プロフィール



久堀裕朗 (大阪公立大学)

1970年大阪府生まれ。京都大学文学部卒。大阪外国語大学助教授を経て、現在大阪公立大学大学院文学研究科教授。研究テーマは日本近世文学、主に人形浄瑠璃史。主な著書に『上方文化講座 義経千本桜』(共編著)、論文に「淡路座の『仮名手本忠臣蔵』—現行文楽との相違とその価値—」など。



竹本織太夫 (太夫)

人形浄瑠璃文楽 太夫。1975年生まれ。大阪市出身。1983年、8歳で豊竹咲太夫に入門。初代豊竹咲雨太夫を名乗る。2018年六代目竹本織太夫を襲名。実業之日本社から『文楽のすゝめ』シリーズを3冊既刊。NHK Eテレの『にほんごであそぼ』に2005年からレギュラー出演するなど多方面で活躍。国立劇場文楽賞文楽優秀賞等受賞歴多数。



鶴澤清旭 (三味線)

人形浄瑠璃文楽 三味線。1980年生まれ。大阪市出身。1993年鶴澤清治に入門。1996年文楽協会研究生となる。1999年鶴澤清旭と名乗る。同年9月国立劇場で初舞台。これまでに、2007・2012年文楽協会賞、2008年大阪文化祭賞奨励賞、2020・2022年国立劇場文楽賞文楽奨励賞など多数受賞。

お問い合わせ

日本学校音楽教育実践学会第30回全国大会実行委員会
藤本 佳子 (大阪教育大学)
MAIL : jissen.osa30@gmail.com

申込

Peatixによるオンライン決済
(<https://ongakujissen30osaka.peatix.com>)

